

**TAC・Wセミナー 2023・2024年度合格目標
国家総合職内定者アドバイザーホームルーム
最終第6回 『国家総合職合格への道～俺の敵はだいたい俺～』
内定までの各情報・LAから贈る言葉**

新宿 3月3日（金）16：30～17：30
オンライン 3月10日（金）18：30～19：30

無断複製（コピー等）・無断転載等を禁じます。



目次

【LAの自己紹介】

【試験直前のあれこれ】

- ・勉強編

- ・私生活編

【官庁訪問対策】

- ・各省庁の特徴（噂）まとめ

【試験当日の実際】

【LAから贈る言葉】

【HRとは】

私たち国家総合職内定者アドバイザー（LA）が皆さんの勉強と官庁訪問対策をサポートする機会です。内定に近づくための6回のHRを用意しています。

基本的に月一回のペースで新宿校とオンラインにて開催する予定です。内定者スタッフが就活生だった去年の同じ時期に不安に思っていたことや、欲しかった情報などを徹底的に分かりやすくお伝えしたいと思っています。

途中入場・退出は自由です。日ごろの勉強の息抜きに、小さな悩みを解消するために、内定者にしか分からない話を聞きに、お気軽にご参加ください！

LAに寄せられた質問やその回答についてもその都度このHRで紹介したいと思っているので、そちらも併せてご利用ください。

【LAの自己紹介】

葛西 万由

厚生労働省/早稲田大学文化構想学部/政治・国際区分

- 【併願先】内閣府
- 【訪問先】厚生労働省
- 【講座】政治・国際本科生
- 【専攻】メディア論
- 【得意科目】政治学、知識科目
- 【苦手科目】国際法
- 【しておいてよかったこと】省庁イベントの参加 担任カウンセリング
- 【マイブーム】爆音Live動画鑑賞@お風呂場
- 【メッセージ】

「何のために働きたいか、誰となら頑張れるか」
この原点に立ち返りながら、将来の自分と向き合うことが大切だと思います。微力ながら皆さんのサポートをさせていただければ幸いです。
HRや相談コーナーでお待ちしています♪



谷口 元軌

消費者庁/法政大学法学部/法律区分

- 【併願先】文部科学省、内閣府、裁判所事務官、東京都庁、国税専門官、国家一般職
- 【訪問先】文部科学省、内閣府、消費者庁
- 【講座】法律本科生
- 【専攻】民法（消費者法）
- 【得意科目】憲法、国際法
- 【苦手科目】政策論文、文章理解（英語）
- 【しておいてよかったこと】説明会等への参加、受験生同士での情報交換
- 【マイブーム】焼うどん作り
- 【メッセージ】

内々定に至るまでの道のりは長く険しいものですが、同時に乗り越えた時の喜びもまた格別なものです。そうした私たちの経験を糧として皆さんの最善の結果の一助となれば嬉しく思います。
元受験生として、同じ志を持つ者として皆さんに会える日を楽しみにしています！



野里 夏彩

防衛省/慶應義塾大学法学部/政治・国際区分

【併願先】外務省、東京都庁、国家一般職

【訪問先】①防衛省②外務省

【講座】政治・国際本科生

【得意科目】国際関係、人事院面接

【苦手科目】数的処理

【しておいて良かったこと】説明会への参加、担任カウンセリング、HRへの参加、模擬面接、友人との官庁訪問対策ゼミ

【マイブーム】ゆる言語学ラジオを聞くこと

【メッセージ】

試験までもうすぐなのに全然勉強できてない不安！そんな人はぜひ私に声をかけてください。私は2月から気合をいれて勉強し始めました。ここからが本番です。一緒に乗り越えましょう！



長井 優樹

経済産業省/慶應義塾大学文学部/政治・国際区分

【併願先】農林水産省・国土交通省・東京都庁

【訪問先】経済産業省、農林水産省、国土交通省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】東洋史

【得意科目】憲法等の暗記系科目

【苦手科目】政策論文、数的処理

【しておいてよかったこと】筋トレ、小ネタ作り

【マイブーム】再びのサウナ、ロレックス

【メッセージ】

社会人経験の体験や就活を2度経験している私ならではのアドバイスが出来ればと思います。就活という答えのない難問とともに立ち向かいましょう。



橋本 将

文部科学省/横浜国立大学経済学部/教養区分

【併願先】厚生労働省、内閣府、東京都庁、横浜市、国家一般職、
国税専門官、裁判所事務官一般職、旭川市

【訪問先】厚生労働省、内閣府、文部科学省

【講座】横国本科生

(地上国般コース国家総合職併願講座(経済区分))

【専攻】財政学

【得意科目】数的処理、財政学

【苦手科目】面接

【しておいてよかったこと】説明会計60回以上参加、勉強会

【マイブーム】人生に刺激を加えること

【メッセージ】

日々定までにはたくさんの困難があり、誰しもがつらい、苦しい思いをします。私自身も官庁訪問までの期間は本当に苦しかったので、現在受験勉強を頑張っているみなさんに少しでも力になればと思います。一緒にこの試練を乗り越えましょう！



佐藤 凜

総務省自治分野/早稲田大学法学部/教養区分

【併願先】金融庁、農水省

【訪問先】総務省

【講座】1.5年法律本科生、教養区分強化パック

【専攻】民法債権法

【得意科目】官庁訪問、自己分析

【苦手科目】企画提案試験

【しておいて良かったこと】説明会への参加、TACホームルーム・省庁説明会等での友達作り、
担任カウンセリング

【マイブーム】韓国ドラマ

【メッセージ】

教養区分の対策に出遅れてしまった方・苦手な方、部活・サークルなど両立を頑張りたい方、ご相談ください！官庁訪問対策も意外といけます！ゆるくおしゃべりしたい方もぜひぜひ。国総就活楽しく乗り切ろう！



高宮 康大

環境省/東京大学文学部/教養区分

- 【併願先】総務省、内閣府
- 【訪問先】環境省、総務省、内閣府
- 【講座】秋試験経験者区分本科生
- 【専攻】国語学
- 【得意科目】数的処理、自然科学
- 【苦手科目】社会科学
- 【しておいて良かったこと】自主ゼミ、HR参加
- 【マイブーム】サイクリング、温泉
- 【メッセージ】

就職活動を通して、たくさんのつらいことがあると思います。私は「自分」と全力で向き合うことが一番大変でした。寄り道に寄り道を重ねた就職活動を経て、相談できる誰かがいることが非常に力になると感じたので、少しでも困ったことがあればカウンセリングやHR等で気軽にLAに声をかけてください！



山口 夏未

総務省/慶應義塾大学経済学部経済学科/経済区分

- 【併願先】厚生労働省、内閣府
- 【訪問先】総務省、厚生労働省、内閣府
- 【講座】経済本科生
- 【専攻】行動経済学
- 【得意科目】数的処理、統計学・計量経済学
- 【苦手科目】文章理解、経済理論
- 【しておいて良かったこと】自主ゼミ、カウンセリング利用
- 【マイブーム】御朱印巡り（伊勢旅行を機にハマりました）、フィギュアスケート観戦
- 【メッセージ】

部活やサークルと両立したい、民間就活と両立したい、周りに公務員志望者がいないけど頑張ってみたい...人の数だけ就職活動の形があります。時には孤独を感じることもあるかもしれません。だからこそ私はLAとして、皆さんの背中を押す存在でありたいと思っています。悩んだり迷ったりした時には、気軽に相談に来てくださいね。



【2.試験直前のあれこれ】

1. 勉強編 ※今年は日程が約2週間早まっているので注意！

1-1. 択一編

法律区分：谷口

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
4月	【数的処理】 毎日全分野2問は必ず解く。 1週間に2,3回は模試や演習を解き直して 「時間内に解ける問題を選んで解く」練習 をする。 【文章理解】 毎日2問英文を解く（速読と文章整序）。 【知識分野】 移動中などに講義を聞き流す程度 (時事のみ直前に詰め込んだ)。	【テキストの復習】 毎日全科目のテキストを全範囲読み つつ、説明をする。 【問題集】 択一演習の問題を使い間違えた分野 を復習。	対策せず。
反省点	特になし。	特になし。	特になし。

経済区分：山口

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
4月第1週	なし	講義視聴：憲法（完） 演習：経済理論応用（2周目完）	なし
4月第2週	なし	演習：経済理論応用（3周目完）	なし
4月第3週 週末に 一次試験	なし	演習：経済理論応用 （間違えた問題の解き直し）	なし
4月 第4週	なし	演習：財政学 （都庁試験と2次試験に向けて用語 の暗記）	講義視聴： 経済理論 （完）、 財政学
反省点	なし	1次試験の自己採点を試験当日のう ちにやっていたら、2次試験対策に スピーディーに取りかかれたかも...	なし

政治国際区分：葛西

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
4月第1週 4月第2週	【数的処理】 1日1~2セット。 （判断推理×2，図形×1，数的推理×1，資料解釈×1を40分以内） 【文章理解】 週2回1セット。 （現代文×2，英文×4を25分以内） 【知識科目】 隙間時間は常に時事。移動中はテキストin my handだよ。高校既習科目はV問題集で演習。1日2科目30分ずつをローテーション。	【必須3科目＋国際法行政学】 それぞれ90分×週3で演習。 A・B問題とミスった問題優先。 【その他選択科目】 JAPAN Timesの社説集を読んで英文時事慣れ。結構おもしろい。財政学は予算を詰め込んで暗記。	特になし。 とにかく択一試験に全振り。専門は1次試験後に何とかする！と言いつけた。
4月第3週 4月第4週	【全教科共通】 模試2回分＆択一演習の復習。 過去問10年分で最終確認。 時間配分を体に覚えさせる。	【全教科共通】 模試2回分＆択一演習の復習。 過去問5年分で最終確認。	
4月最終週	新しいことを詰めるよりも、間違えた問題を復習することに全振りしてた。	ミス問題や苦手分野をまとめたノートを繰り返し見返していた。本番5分前までずっと見てた。	
反省点	勉強面は反省なし！我ながら完璧なスケジュール管理だった。と言うものの、直前期に謎の不安に襲われ、試験1週間前から眠りが激浅になった。悪い夢ばかり見てたので、ちいかわを観て癒されるべきだった。		なし。

政治国際区分：野里

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
4月	【数的処理】 資料解釈を1日2問＋その他のとれる分野の問題を2問解く。 【文章理解】 移動時間で英語の並び替えのみやる。 【知識分野】 歴史のポッドキャストを聞く。その他は捨てる。	あまりに昔の問題だと傾向が違うので平成20年以降の問題だけに絞って、間違えた問題のみ繰り返し演習していた。 1日10問×4～5科目分	1次試験からちょうど一週間後に都庁の試験があったのでそれが終わった後の5月から勉強開始した。
反省点	知識分野にほとんど手を付けられなかったこと。	なし。	なし。

政治国際区分：長井

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
4月	数的処理は今まで自分が多く間違えた問題を重点的に解いた。 文章理解の問題形式は軽く確認する程度。 知識は人文系（世界史、日本史、地理、思想）の本を片っ端から読み込んだ。 時事は、直前に配布される時事テキスト末尾の問題演習ページを繰り返し解いた。	全科目の問題集を5周できるよう予定を立てて実行しした。間違えた問題は付箋をつけて分かるようにし、再度解きなおすことで付箋が全て取れるように頑張った。	答練を締め切りギリギリに提出し、模試の復習をした後は何も手をつけなかった。 （択一に集中）
反省点	知識について、地理や日本史等にも着手できるとな良かったと思う。	最終的に全ての付箋を取ることができず失敗に終わる。	とにかく対策がギリギリだった。

1-2.記述編

法律区分：谷口

時期	専門記述	官庁訪問
5月第1週	【憲法】 過去問を1日1問解いて、知識を確認。 過去10年分程度を特に注力した。 【行政法】 過去問を1日1問解いて、知識を確認。 過去10年分程度を特に注力した。 【民法】 民法専攻で普段から事例式のディスカッションをしていたので、あまり過去問には触れず、択一用の知識の復習をしていた。 1日1周を目安。 【政策論文】 平均点（5～6点）が取れば良いなあくらいに思っていたので、過去の解答例を参考に書き方を覚えた。 解答例集を読み物として読む程度。	一次合格者説明会への参加以外は特に対策はしていなかった。 学校の友人と面接練習をした。
5月第2週		
5月第3週		
5月第4週		自身が訪問する省庁の再確認と、志望動機の確認がメイン。
5月最終週		
反省点	政策論文対策はもう少し時間かけてもよかったかもしれない（答練も出していなかった）。	職員面談に行かなかったことは非常にリスクだった。

経済区分：山口

時期	専門記述	官庁訪問
5月	【経済理論】 GW前に講義視聴を完了させる。その後は「答練を解く→自己採点」の流れを各答練2回ずつこなす。答練が終わった後は過去問演習。ただし時間が足りず直近2年分しかこなせなかったため、それ以前の分は講義の解説を見返していた。 【財政学】 GW中に講義視聴を完了させる。その後は「答練を解く→自己採点」の流れを各答練2回ずつこなす。答練が終わった後は過去問演習。ただし時間が足りず直近2年分しかこなせなかったため、それ以前の分は講義の解説を見返していた。 【経済政策】 一応GW中に講義視聴を完了させたものの、経済理論や財政学の勉強と両立している時間はないと判断し、断念。 【政策論文】 まだ解き直しが終わってなかった4回目の答練を再度解き直し、自己採点。答練の解答例や合格者の復元答案を参照して論点のストック＆書き方のコツを習得。	【2次試験前】 人物試験の対策に専念する中で、志望動機やガクチカをブラッシュアップ。人事院模擬面接に2回臨み、面接練習を積む。しかし志望動機と志望省庁の所掌分野とのつながりが掴めず、試験まで1週間を切ったタイミングで急遽担任カウンセリングを行う。 【2次試験後】 試験で中断していた説明会参加を再開。総務省だけでなく、2日目や3日目に回る予定だった、厚生労働省や内閣府の説明会にも積極的に参加。また白書を買って政策の勉強を始める。
反省点	特になし。	白書はいらなかったかも。白書より説明会の資料や官庁訪問自主ゼミでの勉強会の資料を利用していたため。

政治国際区分：葛西

時期	専門記述	官庁訪問
5月	【国際関係AB】 答練の復習＆過去問演習。Aはアメリカ外交を中心に演習して、Bはキーワードとなりそうな英単語をメモする。 【政治学】 答練の復習＆過去問演習。答練解答に掲載されている類題は結構良問。やって損はない。試験委員の論文や著書に一応目を通したが、山は当たらず。トホホ。 【政策論文】 合格者復元答案を見て、上手な論理構成を真似してみる。アイデアの引き出しを増やすために、時事テキストやNHKの解説員室を見る。	志望省庁開催のイベントにフル参加した。 TACの人事院模擬面接、担任カウンセリングで、志望動機やESの最終仕上げ。
反省点	1次の点数に浮かれて、ノリで1週間旅行した結果、試験2週間前から始動することに。日帰り旅行にすればよかった。	特になし。

政治国際区分：野里

時期	専門記述	官庁訪問
5月	【国際関係AB】 Bで誰の古典が出そうか予想する。ネタにできそうな国際的なニュースを取集する。米中関係を整理しておく。国際関係の本を読む。 【政治学】 時間配分を意識しながら今まで溜めていた演習を解く。頻出テーマを説明できるようにひたすら書き出す練習をする。試験委員の本を読む。 【政策論文】 試験対策委員の本を読む。 演習を解く。	省庁が主催する説明会には全て参加した。 TACの官庁訪問対策ゼミや東大の公務員対策コミュニティで勉強会やES添削や面接練習をする。 私自身も個人的な勉強会を数回開催した。
反省点	演習の添削期限を過ぎていたためフィードバックがなかったこと。	なし。

政治国際区分：長井

時期	専門記述	官庁訪問
5月	【憲法】 記述テキストの末尾についている論証集をひたすら暗記していた。択一テキストもかなり見てどの論点が出てもある程度書けるように覚えこんだ。 【国際関係】 憲法同様に択一テキスト参考に暗記をする。それと同時に過去問演習も行う。	TACの人事院模擬面接を駆使して面接対策を行っていた。 省庁の例外日説明会等に参加していた。そこで友人を積極的に作り、志望動機や日本について熱く語り合っていた。
反省点	効率は悪かった。しかし覚えることができたので総じて反省はしていない。	特になし。

2. 私生活

法律区分：谷口

朝：かなり長めに寝ていた。試験1週間前からは朝7時には起きるように頑張った。朝ご飯は団子。

昼：自室で全力で勉強していた。休憩は殆どとらず、力尽きるまで手を動かしたり部屋の中を動き回っていた。昼ご飯はなし。

夜：お風呂に入りながら新聞を読み時事の勉強。1時くらいに就寝。

就寝前：座禅を組んで世の中の無常について憂う。

経済区分：山口

朝：朝9時に勉強を開始すると決め、それまでに朝食と身支度を終えるように逆算した結果、毎朝遅くとも8時には起床していた。通信講座だったため勉強は自室で。基本は50分勉強→10分休憩のサイクルで回していた。休憩中は好きな音楽を聴いてリフレッシュ。

昼：午後は13時から勉強すると決めていたため、12時台は昼食&休憩タイム。しかし今から思い返すと、休憩のつもりで見ていた情報番組が意外と官庁訪問に役立ったかも。午後もおおむね午前と同じサイクルで勉強していたが、習慣だった15時のティータイムは欠かさなかった。

夜：19時から夕食を食べた後は、入浴と身支度を済ませ21時から勉強を再開。夜の勉強は昼ほど体力が残っていないので答練や演習はやらず、復元答案を眺めるか志望動機の練り直しをしていることが多かった。22時半ごろ勉強を終了し、その後は趣味の時間に充てる。当時のマイブームはSPY×FAMILYのアニメを見ること。

政治国際区分：葛西

朝：試験1か月前から7時にアラーム。8時半にはTAC早稲田校に到着。満員電車で根気で耐える日々。車内では、時事テキストかNHKの解説委員室に目を通していた。

昼：午前中にブラック珈琲500mlを飲み切る。もはやカフェインは効かないが、精神安定剤のために嗜む。お昼ご飯は本番と同じ鮭おにぎり。たまにSUBWAYのチリチキンサンドで気分転換（セサミブレッド・玉ねぎ以外の野菜多め・ドレッシングはチリソース激辛で）

夜：19時にもう一度鮭おにぎり。珈琲を摂取しながら、そのまま21時半まで早稲田校におこもり。帰宅後、1日のご褒美に大好きなドライフルーツを食べる。家ではゆっくり休むと決めていたので、YouTube見たり電話したり、好きなことをしていた。

政治国際区分：野里

朝：今日も一日が始まってしまったと思いながら目覚める。目が覚めてすぐに同じ国総の試験を受ける友達に電話をかける。お互いに励まし合ったり政策の話をしたり時事対策をする。2時に寝て9~10時に起きる生活をしていたので、一週間くらい前から早起きをする練習はしていた。

夜：午前中は大学の授業を受け、お昼は友達とご飯を食べ現実逃避をし、午後から勉強スタート。18時ごろに手作りおにぎりを食べ、22時以降にマックやラーメンを食べに行っていた。体にはよくないが、好きなものを好きな時間に食べることでストレスを溜めないようにしていた。

就寝前：夜2時頃まで電話をする。今日も一日が一瞬で終わってしまったと絶望しながら眠りにつく。

政治国際区分：長井

朝：毎朝6時に必ず起床するように心がけていた。6時25分からはじまるテレビ体操を行うようにして7時には家を出てカフェへ。

昼食：二郎系ラーメンを週2回、それ以外は中華を食べていた。

昼食後：どうしても眠くなってしまうので、15分間のお昼寝タイムを作っていた。

夕食：21時ごろまではTACにいたので軽食を食べた。家に帰ってからがつつり夜ごはんを食べるようにしていた。

就寝前：もし勉強に裏切られても筋肉だけは裏切らないという信念のもと腕立て等の筋トレをしていた。

【3. 官庁訪問対策】

□それぞれの省庁特徴まとめ （建制順）

・会計検査院

官庁訪問期間中に「官庁訪問でうちにこないか」という電話がかかってくるのが風物詩となっているが、それなりに志望者は多く、評価はしっかりとしている印象。

・人事院

訪問者によると、厳しく詰めてくるというよりは肯定的に受け止めてくれる優しい職員さんが多いとのこと。

・内閣府

内閣府自体は制度を持っているわけではなく、「政策をつくりたい！あれがやりたい！これがやりたい！」という人には向いていないので、その点には注意すべき。評価によって第1クールから部屋を分けられることも。

・消費者庁

2日目・3日目に入れるには丁度良いし、志望理由も考えやすい。ただ、訪問者も30～40人おり、採用者は3人程度なので、倍率は他省庁と同じくらいなので注意。説明会が少ないため、全ての面接で始めに業務の説明をしてくれて親切。第2クールで事実上終わり。最初の入口面接兼人事面接は人事企画室室長が担当していた。

・警察庁

いわゆる「1日目官庁」。説明会などに参加すると採用担当者から電話がかかってくるなど、事前のアピールを重視している印象。控室には2年目職員が待機しており、控室での姿勢も見られている可能性があるとのこと。学歴を重視しているが、東大じゃなくても受かっている人はいる。親族の逮捕歴は調べられるらしい。多少試験の席次を考慮に入れているらしい。

・総務省（自治）

形式は比較的オーソドックス。採用担当者（特に説明会によく出ていらっしゃる係長）と良好な関係性を築けているかが重要。

・総務省（ICT・行管）

形式は比較的オーソドックス。訪問中は訪問者に評価が伝えられることはあまりなく、採用プロセスに差をつけることも基本的でない。原課での評価も重要視される印象。

・法務省

局別に面接が行われる省庁であり、事前にどの局を受けるか選ぶことができる（同じ日に複数の局を受けることも可能）。原課・人事といった風に面接が分かれている印象は無く、非常にオーソドックスな面接内容。第3クールでの評価が非常に重要らしい。大概第2クールからの募集もしているので万が一の保険にもなる。採用はほぼ法律区分からのみ。

・外務省

第1クールと第2クールの人事課面接が非常に大切。原課面接は評価に関係ないといわれているが全然関係なかったという人と、絶対に評価に入っていたという人がいる。しかし全力で取り組むべし。第2クールまでで高い評価をもらっていると安心できる。ディスカッションの重要度は人による。評価されている感触があっても普通に落とされる。

・財務省

原課面接の重要度が他省に比べて高い印象。プロの行政官といかに政策に関する話をできるかという頭の回転が重要とされる。今まで説明会に行っていなくても電話がかかってきてる友人がいた。

・国税庁

3日目でも内定している人がいる。

・文部科学省

人気の高い省（昨年は3日間で200人以上訪問し、内定は約20人）のため、事前のアピールが他府省に比して重要。職員訪問や説明会に行かないで受かることはあまりない。ただ、職員訪問をしていなくても内定をもらえる人は一部いる。集団面接や集団討議など独特な形式の面接が多い。集団討議は評価が微妙な人は大事。面接内容も、政策に関する質問が比較的多い印象。

・厚生労働省

形式は比較的オーソドックス。事前のアピールはマストではないが、かなり効果的。質問内容も政策に関することから志望動機、趣味まで多岐にわたる。原課と人事課のミックス型が多く、全ての面接が評価に影響する。第2クール時点で厳格に定員を管理するが、第3クール切りも結構あり得る。

・農林水産省

志望動機が重視される。調書でも「国家公務員の志望動機」と「農水省の志望動機」を書く欄が別々に用意されており記入欄の大きさも比較的大きい。今年度では第3クール2日目に初めて訪問した人でも採用された人がいた（非常に稀）。

・経済産業省

いわゆる「囲い込み」をされるとされるため、事前のアピールが極めて重要。評価が高ければ第2クール以降は安心していい。ボーダーラインの学生は第3クールでふるいに掛けられる。ただ、囲い込みされていなくてもきちんとアピールできれば大丈夫。時間管理はきちんとしており割と早く帰ることが出来る。

・国土交通省

人事課面接を非常に重視する。第2クールから一軍部屋と二軍部屋が厳格に分かれるため、第1クールでのアピールが重要。政策に関する「知識」は必ずしも求められてはいないが、政策関連の深掘りに耐えられるような自分の中での「掘り下げ」は重視されている印象。

・環境省

事前の評価が高ければ人事課面接、低いと原課面接が重要視されるらしいが、真偽のほどは定かではない。原課面接は、説明会のような形式で、訪問者の考え方を訊かれるため、政策等の知識はそこまで必要ではないが弾を使う素地は必要とされる。省が比較的小さく採用人数も多くないため、倍率は意外と高め。

・防衛省

経産省ほどではないが、優秀な学生はきちんとマークしている模様。職員の人当たりがよく、原課訪問は楽しめる。官庁訪問の形式は比較的オーソドックス。グルデイスが評価に入っている人とそうでない人がいる。

*ここに書いてある、囲い込みや優秀な学生をマークしているのはあくまでも噂にすぎません。もしあったとしても内定をもらいやすいだけです。実際に官庁訪問のなかで自分の魅力を伝えることが出来れば内定は可能です。（アドバイザーの中にも採用担当に顔を覚えてもらっていないまま内定した人もいます。）

【4.試験当日の実際】

1.当日の時間割

参考までに昨年度の時間割を掲載しておきます！御覧の通り長丁場になるので、どのように過ごすかイメージをしておくといと思います。

試験種目	試験時間
専門試験（多肢選択式）	9：00～12：50
基礎能力試験（多肢選択式）	13：45～17：00

（昨年度の受験案内より引用）

2. 試験あるある

この項目では、試験経験者から集めた当日の経験談を紹介します。少しでも当日のイメージに役立てていただければ嬉しいです。

（1）試験当日あるある

- ・大教室すぎて枚数確認に時間がかかり、お昼休憩が30分しかなかった。
- ・椅子の座り心地が最悪なうえに狭い。
- ・途中退出者のためにわざわざ立たなくちゃいけない。席は運ゲー。
- ・自立するバッグorリュックじゃないと邪魔になる。
- ・女子トイレは大名行列。
- ・写真照合のためにマスク外すのがだるい。特に数処中だとイライラする。
- ・異様に早く退出する受験生がいる。が、気にしない。気にしない。
- ・人事院の準備の手際が悪く、試験開始が3分遅れる。しかも突然開始される。
- ・2次試験の性格診断に時間がかかりすぎて試験官に注意される。
- ・集中しすぎて周りの音が聞こえなくなる。
- ・試験時間が長すぎてみんな途中でトイレに行く。
- ・服装は最も実力が出せる服装で行く。（長井はスーツ）（橋本はジャージ）
- ・教室に向かうまでの行列がどこに並んでいいかわからない
- ・受験生の多さにビビる

（2）試験当日のお昼ご飯 *みんなのこだわりメニュー

谷口

- ・DARSのチョコレート
- ・小岩井のカフェオレ（500ml）

以上。どこでも買えるものを昼食に選びました。

長井

- ・チキンパスタサラダ（セブンイレブン）
- ・ポンジュース
- ・伊右衛門
- ・レッドブル
- ・森永ラムネ（本家.ver→筒状のやつ）

以上5点は必ず試験に持っていきました。頭がいやでも回るように糖分多めに、炭水化物もタンパク質も忘れずに摂取できるものを選択しました。

野里

そば一択。眠くなるので炭水化物はあまりとらないようにする。2次試験の時はコンビニのサラダチキン（スモーク）と豆とひじきのサラダ。

佐藤

- ・コンビニ飯
- ・ガルボホワイトチョコ

葛西

- ・銀鮭おにぎり（海苔はなし。前夜に焼いて小骨を抜いておく。）
- ・伊右衛門のジャスミン茶（525ml）
- ・Crystal geyser（700ml）
- ・クラフトボス 贅沢コールドブリュー ブラック（600ml）
- ・ミンティア（Wild&Cool）

大好きなおにぎりの具でテンションを高めつつ、午後の試験に響かないように腹6分目まで。カフェイン中毒なので、ボトルコーヒーも必須。眠気覚ましというより安心剤。その代わりに歯磨きで覚醒させてました。

橋本

- ・ツナマヨネーズおにぎり（ファミマ）
- ・5個入りのクリームパン（ファミマ）
- ・生茶（525ml）
- ・綾鷹の抹茶ラテ（440ml）
- ・ストレス軽減のGavaチョコレート

事前に同じ食事でシミュレーションして、お腹を壊さないことが判明しているこれらのメニューで固定していました（一応痛み止めは持っていましたが）。各試験時間の合間に簡単に糖分を補給できるように、小分けにされているクリームパンやGavaチョコレートを持っていきました。

高宮

- ・試験会場最寄り駅で買ったコンビニのおにぎり...？

（3）持ち物リスト

マスト

・受験票

- ・HB鉛筆5本
- ・鉛筆削り
- ・シャーペン
- ・シャー芯
- ・消しゴム2個
- ・時計
- ・参考書（多すぎると邪魔なので最低限でOK）→御守り程度に考える
- ・飲み物
- ・お昼ご飯
- ・ハンカチ&ティッシュ
- ・御守り
- ・身分証明書

あるとベター

- ・上着（冷え性には必須）
- ・薬（痛み止め・解熱剤など）
- ・目薬（眠気覚まし）
- ・歯ブラシ（眠気覚まし）
- ・イヤホン、ヘッドホン（周りの音をシャットアウト）
- ・多めの現金（タクシーを使うかも）
- ・予備のマスク
- ・ウェットティッシュ

【アンケートでいただいた質問】

Q. 政策論文はどのように対策すべきですか

A. まずはTACの講義を視聴して答練を提出しましょう。時間配分や資料の活用法を決めておくと本番焦らずに済みます。3月の記述模試までに、一度答練で感覚を掴みましょう。

また、政策論文は資料を上手くまとめて、論理的な文章を作成できれば、足切り点を食らうことはほぼありません。むしろ奇を衒った主張や詳しすぎる政策論はあまり好まれないので、「120分でいかに分かりやすい文章を書けるか」だけを意識してください。年明けに合格者復元答案集が配布されるので、高得点の答案を参考にして、文章構成や接続詞の使い方などを真似てみましょう。

Q. 学業と試験勉強の両立はどのようにしていましたか

A. 時期によって優先順位を変えるのがいいと思います。やっぱり単位は必要なので、大学のテスト期間はテストに時間を割く、またゼミ等で忙しい時にはそこに時間を割くなど、バランスを考えましょう。また、単位を取るために必要な勉強量を把握して、計画をたてながら効率よくこなすのがおすすめです。

Q. どのようにメンタルケアをしていましたか

A. 人によって様々です。辛い物を食べたり、バンジーを飛びに行ったり、部活に熱中したりと自分に適した方法を探る必要があるでしょう。

Q. 日々読んでいた本はありますか

A.

橋本：省庁関連の本は仕方がなく読んでいました。「最近読んだ本で印象に残ったものは？」のため『実力も運のうち』という本を買いましたが、3分の1だけ読んで挫折しました。活字苦手なら読まなくてもいいかなと思います。

長井：『知的複眼思考法』はオススメです。サンデルの本もおすすめです。大前研一もいいですよ。『学問のすゝめ』などに代表される日本の思想家の本は結構おすすめです。とにかくたくさん読んでいて損はありません。

谷口：『銀河英雄伝説』という小説を読んでいました。個人的には民主主義の重要性や行政官が常に持たなければならない視点はこれを読みながら培ったように思います。

葛西：『コジコジにきいてみた。モヤモヤ問答集』です。誰しも就活の悩みごとは尽きないもの。コジコジがこの社会の鬱憤をぶった切ってくれます。

Q. 職員訪問の準備はどんなことをしていましたか

A. まずは自分の聞きたい分野や政策を伝えましょう。省庁によりますが、当該分野の職員さんをマッチングしてくれます。次に逆質問リストを作成しましょう。なぜその分野に関心を抱いているのか、政策の疑問・課題、実現してみたい政策や自分の考えなどをまとめていました。事前に質問リストを作成することで、緊張せずに臨むことができます。

プラスαで、入省して最もやりがいを感じたこと、職員の雰囲気、仕事の軸などを聞いても良いと思います。政策を動かしている職員さんの生の声を聞ける機会はとても貴重です。せっかくの機会を無駄にしないように、事前準備は入念に！

Q. 暗記方法のコツを教えてください

A.

長井：何か特別なことが言えればいいのですが特にありません。強いてあげるなら毎日暗記すべきものに触れることでしょうか。

葛西：私は手と口を動かして暗記していました！まずは手を動かします。講義でインプットした内容やテキストの表を、ひたすら白紙に書きおこして、半分機械的に頭に詰め込みます。次はおしゃべりです。書いた用紙を基に、先生になりきったつもりで、プーさんのぬいぐるみに授業していました。自分の言葉で喋っているうちに、流れを整理できますし、内容もグンと理解しやすくなります。プーさんでなくても、愛犬や家族、友人でもいいと思います！

高宮：なかなか覚えられないものについては、手のひらサイズのノートに赤シートで隠せる形式で一問一答を自作してました。そのノートは、絶対に毎日の行き帰りの電車で繰り返し解くことで、頭に叩き込んでいました。

Q. 職員さんとの1対1の面談や面接の場で聞いていたことや意識していたことを教えてください

A. 結論ファーストで話すことで、相手に要点が伝わりやすいです。また、短く話すことで相手に聞きしろが残り、より会話が弾みやすいのではないかと思います！

Q. 自己アピールのコツは？

A. 先に自分の強みを決めた後に、その根拠となるエピソードを用いて説明すると、説得力があると思います！

Q. 事前に採用者を決めているのではないかと感じたことはありますか？

A. 説明会や面談だけで評価されているかどうかを判断するのは難しいです。また、省庁によっても異なる部分が多いと思うので、気になる省庁があれば個別に対応します！

Q. 官庁訪問の過ごし方は？

A. 官庁訪問は待ち時間がかなり長いので、待ち時間をどう過ごすかはわりと重要です！待ち時間の過ごし方としては、

- ①面接の反省・学んだことをまとめておく
 - ②周りの友人と談笑する、面接官情報を共有する
- ことが有効だと思います。ぜひ参考にしてみてください！

Q. 同じ所掌を持つ省庁の志望動機はどう作る？

A. 基本的には、同じことを書くことができるならある程度流用していいと思います。ただ、各省庁の考え方や所掌分野への携わり方などに注意して書く必要はあると思います。

例：共通「誰もが主体的に選択できる社会の構築」

文科省→教育によって選択する力や選択肢そのものを増やしていく

厚労省→選択する上での障壁を制度面からなくしていく

内閣府→複雑化する障壁を多方面からの取り組みでなくしていく

Q. 試験本番は何点だった？

長井（政治国際）：1次 教養 23点・専門 29点
2次 国際関係A90点/国際関係B85点/公共政策A100点/政策論文7点
葛西（政治国際）：1次 教養 26点・専門 33点
2次 政治学140点・国際関係A110点・国際関係B120点・政策論文6点
野里（政治国際）：1次 教養 20点・専門 22点
2次 政治学150点・国際関係A120点・国際関係B140点・政策論文9点
谷口（法律）：1次 教養24点・専門27点
2次 憲法115点・行政法100点・民法145点・政策論文5点

Q. どのようにメンタルを保っていましたか？

メンタルを意識しない。友達と会話する機会を保つ。そのときは就活のことを忘れる。目の前のことに必死になる。

【6.LAから贈る言葉】

・葛西

受講生のみなさん、いよいよ試験ですね。緊張しないようにね、と言うつもりはありません。これからの職業人生を左右する試験なんだから、緊張して当たり前のことです。ただ、「自分を信じ抜くこと。」これだけは最後まで忘れないでくださいね。サクラ咲け！

・谷口

試験まで数える程度となりましたがいかがお過ごしでしょうか。去年の今頃、私は戦々恐々と震えながら毎日を過ごしていました。皆さんの苦しさは十分に理解しているつもりです。しかし、辛みだけではありません。試験・官庁訪問を乗り越えた後は、皆さんが思い描く社会をその手で作り上げることができるようになるのです。官僚を目指す者にとってこれほど待ち遠しいことは無いでしょう。初心を忘れず、熱意を持って乗り越えて行きましょう！

私は合同庁舎4号館にいますので、官庁訪問中や霞ヶ関に勤め始めてからでも、もし見かけたら声をかけてくださいな ♪(' ˘ ') ♪

・野里

皆さんここまでお疲れさまでした。官庁訪問まで皆さんのサポートができないのが残念です。どうあがいても試験日はやって来るので腹をくくりましょう。もうやるしかありません。あなた以外の受験生は全員頭悪いので大丈夫ですよ！！いくぞ！！

民間就活よりカッコいい！自信もって！

・長井

これから皆さんのお手伝いが出来なくなることを残念に思います。ですが、これまでのHRで伝えたいことはすべて書いています！！

酷なことかもしれませんが結果は水物です。うまくいく人もいればそうでない人もいます。そんな中でも皆さんに大切にしてほしいことは2つ。一つ目は後悔しないしなないように日々過ごすこと。2つ目はすべてに感謝すること。皆さんは様々な面でものすごく恵まれています。そうした環境にいることに感謝しましょう。

内定までの半年は思いっきり自分の「夢」にときめいて、やるべきことに打ち込んでください。最後に私の座右の銘を3つ紹介します。

- ・棚からぼたもち。
- ・意志あるところに道は開ける。
- ・人生万事小児の戯れ。

・橋本

今までHRに参加していただきありがとうございました！受験や官庁訪問に向けてみなさんの力に少しでもなっていればうれしいです！

いよいよ試験が近づいてきましたね。合格のためには運も必要なので、いくら準備したからといって絶対に大丈夫とはなりません。それゆえに不安になってしまう人も多いのではないのでしょうか。ただ、それはみんな同じです。大事なものは、「今できる最大限をやり続けること」です。これで落ちたらもうしょうがないと思えるほど努力してください。それが微かな自信を生みます。そんな自信を持って試験会場で周りを見渡してみると、意外とみんな顔が青ざめているので、少し余裕ができるでしょう。そうなればもう勝ち確です！君ならできる！！

・佐藤

短い間でしたが、試験対策やHRなど様々なLAの活動にご参加いただきありがとうございました。カウンセリングでみなさんとお喋りを楽しんだこと、教養区分最終合格の報告を受けて自分のことのように嬉しくなったことなど、良い思い出が沢山です！

さて、最後のメッセージとしてひとつだけ言わせてください。いつでも希望を持ち続けること！全然分からない問題が出て、「おそらく全員わからないからちょっとでも点数取れたら有利じゃね！」、官庁訪問前に予期せぬトラブルが起きても「この逆境乗り越えたらむっちゃすごね！」いつでもポジティブにがんばれ！！

・高宮

短い間でしたが、みなさんありがとうございました！試験はもう目前、官庁訪問もついに日程が発表され、少しずつ焦り始めているのかもしれませんが、あるいは、楽しみになってきている人もいるのでしょうか。試験本番までは、最後までLA含めたくさんの方々力を借りて、自分が本番で全力を出せる実力と環境を整えていきましょう。ちなみに3/28が最後のカウンセリングですが、担当は私なので、私でよければぜひお越しください笑。

この先どこかで迷ったときは、「自分が輝くことのできることを」考えてみてください。そうすればおのずと答えは見えてくると思います。たくさんの方の応援を力に変えて、最後まで走り抜けてください。輝け！！

・山口

ここまでLAの活動にお付き合いいただいた皆さん、ありがとうございました！私たちの活動が少しでも皆さんのお役に役立てているのであれば、LAとしてこれほど嬉しいことはありません。

さて、最後に一つ問いかけたいのは「あなたの夢は何ですか？」ということです。どのような夢であれ、皆さんはそれを叶える場所として国家総合職を志望していることと思います。どうかその「夢」を見失わないでください。それは、内々定までの長く険しい道のりを乗り越える糧となるはずです。

霞ヶ関で一緒に働ける日を楽しみにしています！